

YMアセット・ オーストラリア 好配当資産ファンド

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/資産複合
信託期間	2017年9月15日から、2044年9月20日までです。
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ) オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券 ロ) ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) の受益証券
運用方法	①主として、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) の受益証券を通じて、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざします。 なお、リアルアセット関連有価証券とは、以下の有価証券をいいます。 イ) リート ロ) 上場インフラファンド ハ) リアルアセットを保有または運営する企業の株式 ※1 「リアルアセット」とは、使用料や賃料等のキャッシュフローを生み出すインフラ関連施設や不動産等の実物資産をさします。 ※2 ニュージーランドのリアルアセット関連有価証券にも投資することがあります。 ②オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、配当の成長性および継続性、利益成長性、収益基盤の安定性等に着目し投資を行ないます。 ③オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) では、原則として、為替リスクを回避するための為替ヘッジを行ないません。 ④この投資信託は、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) とダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用) に投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態では、オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) への投資割合を高位に維持することを基本とします。
組入制限	投資信託証券への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) などとし、原則として、継続した分配を行なうことを目標に分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。

運用報告書 (全体版)

第24期 (決算日 2023年9月20日)

第25期 (決算日 2023年12月20日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「YMアセット・オーストラリア好配当資産ファンド 愛称：トリプル維新 (リアルオージー)」は、このたび、第25期の決算を行ないました。

ここに、第24期、第25期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

YMfg | ワイエムアセットマネジメント

山口県下関市竹崎町四丁目2番36号

お問い合わせ先 083-223-7124

(営業日の9:00~17:00)

ホームページ <http://www.ymam.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S&P/ASX200指数 (配当込み、円換算ベース)		S&PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%		%	%	百万円
第16期末(2021年9月21日)	12,289	60	4.1	13,721	△ 1.1	14,219	5.4	99.1	2,159
第17期末(2021年12月20日)	12,910	60	5.5	13,764	0.3	15,288	7.5	99.0	2,151
第18期末(2022年3月22日)	13,105	60	2.0	14,898	8.2	15,315	0.2	99.1	2,133
第19期末(2022年6月20日)	12,028	60	△ 7.8	14,522	△ 2.5	13,281	△ 13.3	99.0	2,006
第20期末(2022年9月20日)	12,699	60	6.1	15,772	8.6	14,421	8.6	99.0	2,304
第21期末(2022年12月20日)	12,401	60	△ 1.9	15,755	△ 0.1	14,200	△ 1.5	99.0	2,336
第22期末(2023年3月20日)	11,826	100	△ 3.8	15,176	△ 3.7	14,044	△ 1.1	99.0	2,027
第23期末(2023年6月20日)	12,709	100	8.3	17,409	14.7	15,181	8.1	99.1	2,212
第24期末(2023年9月20日)	12,235	100	△ 2.9	17,211	△ 1.1	15,308	0.8	99.0	2,126
第25期末(2023年12月20日)	12,582	100	3.7	17,910	4.1	16,396	7.1	99.1	1,997

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに、S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算ベース) は S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとにワイエムアセットマネジメントが円換算し、当ファンド設定日を10,000として計算したものです。S & P / A S X 200指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) および S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、オーストラリア・ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S&P Dow Jones Indices LLCが有しています。S&P Dow Jones Indices LLCは同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。

当作成期中の基準価額と市況の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200指数 (配当込み、円換算ベース)		S & PオーストラリアREIT指数 (配当込み、円換算ベース)		投資信託 受益証券 組入比率
		円	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	
第24期	(期 首) 2023年 6 月20日	円	%					%
	6 月末	12,709	—	17,409	—	15,181	—	99.1
	7 月末	12,565	△ 1.1	16,895	△ 3.0	14,941	△ 1.6	99.0
	8 月末	12,826	0.9	17,221	△ 1.1	15,563	2.5	99.0
	(期 末) 2023年 9 月20日	12,413	△ 2.3	16,916	△ 2.8	15,553	2.5	99.0
第25期	(期 首) 2023年 9 月20日	12,335	△ 2.9	17,211	△ 1.1	15,308	0.8	99.0
	9 月末	12,235	—	17,211	—	15,308	—	99.0
	10 月末	11,849	△ 3.2	16,758	△ 2.6	14,685	△ 4.1	99.0
	11 月末	11,072	△ 9.5	16,265	△ 5.5	13,638	△ 10.9	99.0
	(期 末) 2023年 12 月20日	12,062	△ 1.4	17,267	0.3	15,425	0.8	99.0
		12,682	3.7	17,910	4.1	16,396	7.1	99.1

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

運用経過

基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

第24期首：12,709円

第25期末：12,582円 (既払分配金200円)

騰落率：0.6% (分配金再投資ベース)

基準価額の主な変動要因

基準価額は上昇しました。オーストラリア・ドルが対円で下落（円高）したことは基準価額にマイナスに働きましたが、オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が上昇したことが、基準価額にプラスに働きました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

投資環境について

○オーストラリア・リアルアセット（※）市況

当作成期首から2023年7月にかけては、米国やオーストラリアでCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇傾向となりました。8月中旬にかけては、長期金利が上昇傾向となり軟調な推移となりましたが、8月末にかけては好決算を発表した主要物流施設リートにけん引される形で堅調な展開となりました。9月から10月にかけては、米国で堅調な経済指標が示す経済の底堅さなどが意識されたことや、オーストラリアでCPIが市場予想を上回る伸びを示したことなどを背景に長期金利が上昇傾向となったことなどから、下落傾向となりました。11月には、オーストラリアでRBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利を引き上げたものの、米国では市場予想を下回る経済指標が発表されたことで、米国やオーストラリアの長期金利が低下し、上昇に転じました。12月は、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において金融引き締めからの転換が示唆されたことなどを受け、米国やオーストラリアの長期金利が低下し、当作成期末にかけて堅調な推移となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替市況

当作成期首から2023年7月にかけては、インフレ鈍化などを背景に長期金利の上昇が一服したことや日銀の政策運営の柔軟化決定などを受け、オーストラリア・ドルは対円で下落しました。8月から10月にかけては、オーストラリアの長期金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、オーストラリア・ドルは対円で上昇（円安）傾向となりました。11月は、各国での長期金利低下による投資家のリスク選好姿勢の高まりを受け、対円で上昇しましたが、当作成期末にかけては、米国金利の大幅な低下を背景に日豪金利差の縮小が意識され、オーストラリア・ドルは対円で下落（円高）傾向となりました。

ポートフォリオについて

○当ファンド

当ファンドは、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）とダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）に投資するファンド・オブ・ファンズです。期を通して、オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券を高位に組み入れました。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）などを高位に組み入れました。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

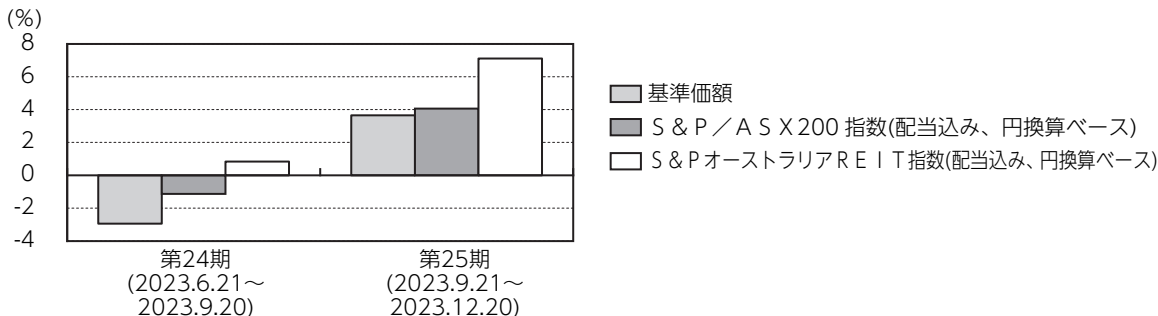
流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行ないました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P / A S X 200指数（配当込み、円換算ベース）およびS & PオーストラリアREIT指数（配当込み、円換算ベース））との騰落率の対比です。

参考指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前々営業日の終値を採用しています。



(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

分配金について

1万口当り分配金（税込み）は第24期は100円、第25期は100円といたしました。収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
	2023年6月21日 ~2023年9月20日	2023年9月21日 ~2023年12月20日
当期分配金（税込み）（円）	100	100
対基準価額比率（%）	0.81	0.79
当期の収益（円）	79	100
当期の収益以外（円）	20	-
翌期繰越分配対象額（円）	3,961	4,006

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	79.21円	144.47円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	1,749.31	1,763.00
(d) 分配準備積立金	2,232.86	2,198.62
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	4,061.38	4,106.09
(f) 分配金	100.00	100.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	3,961.38	4,006.09

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。

今後の運用方針

○当ファンド

オーストラリア・リアル・アセットファンド（適格機関投資家専用）の受益証券の組入比率を、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。

○オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用）

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

○ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行なう方針です。そのため、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資することがあります。

1 万口当りの費用の明細

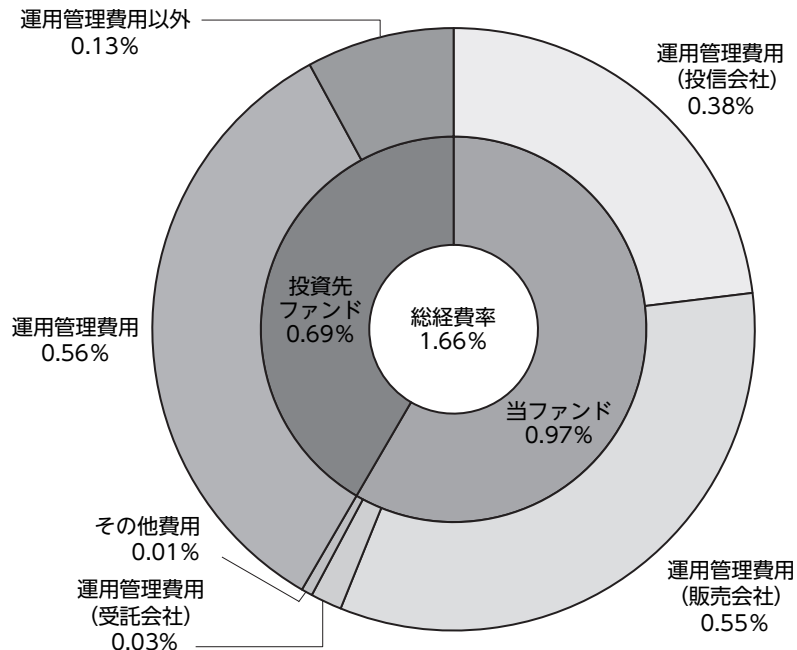
項 目	第24期～第25期		項 目 の 概 要
	(2023年6月21日～2023年12月20日)		
	金 額	比 率	
信託報酬	59円	0.481%	信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）×各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は12,188円です。
（投信会社）	(23)	(0.192)	ファンドの運用の対価
（販売会社）	(34)	(0.275)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝各期中の売買委託手数料／各期中の平均受益権口数 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝各期中の有価証券取引税／各期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.005	その他費用＝各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合 計	59	0.486	

- (注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注2) 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。
- (注3) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注4) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

参考情報

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.66%です。



総経費率 (①+②+③)	1.66%
①当ファンドの費用の比率	0.97%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.56%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.13%

(注1) ①の費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買および取引の状況
投資信託受益証券

(2023年6月21日から2023年12月20日まで)

決算期		第24期～第25期			
		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国	千口	千円	千口	千円	
	オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	80,878.822	90,000	247,010.72	266,000
内	ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	-	-	-	-

(注1) 金額は受渡し代金。
(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況

当期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
国内投資信託受益証券

銘柄	第25期末		
	口数	評価額	比率
	千口	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)	1,749,114.757	1,978,073	
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,103.11	1,094	
合計	金 額 1,750,217.867	1,979,168	
	銘柄数 < 比率 >	2銘柄	< 99.1% >

(注1) 合計欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。
(注2) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月20日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	1,979,168	97.6
コール・ローン等、その他	48,582	2.4
投資信託財産総額	2,027,750	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年9月20日)、(2023年12月20日)現在

項目	第24期末	第25期末
(A) 資産	2,159,157,383円	2,027,750,780円
コール・ローン等	26,495,795	23,582,286
投資信託受益証券(評価額)	2,105,661,588	1,979,168,494
未収入金	27,000,000	25,000,000
(B) 負債	32,723,580	29,807,443
未払収益分配金	17,379,319	15,879,628
未払解約金	9,977,169	9,139,209
未払信託報酬	5,306,480	4,734,540
その他未払費用	60,612	54,066
(C) 純資産総額(A-B)	2,126,433,803	1,997,943,337
元本	1,737,931,964	1,587,962,819
次期繰越損益金	388,501,839	409,980,518
(D) 受益権総口数	1,737,931,964口	1,587,962,819口
1万口当り基準価額(C/D)	12,235円	12,582円

(注) 元本状況
期首元本額 1,741,150,431円 1,737,931,964円
追加設定元本額 48,962,696円 10,319,357円
一部解約元本額 52,181,163円 160,288,502円

■損益の状況

第24期 自 2023年6月21日 至 2023年9月20日

第25期 自 2023年9月21日 至 2023年12月20日

項目	第24期	第25期
(A) 配当等収益	19,132,591円	24,487,466円
受取配当金	19,136,362	24,490,841
受取利息	5	55
支払利息	△ 3,776	△ 3,430
(B) 有価証券売買損益	△ 78,337,639	51,391,680
売買益	2,010,263	59,283,011
売買損	△ 80,347,902	△ 7,891,331
(C) 信託報酬等	△ 5,367,092	△ 4,788,607
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 64,572,140	71,090,539
(E) 前期繰越損益金	277,104,652	177,228,651
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	193,348,646	177,540,956
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(304,017,941)	(279,957,384)
(F) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△110,669,295)	(△102,416,428)
(G) 合計(D+E+F)	405,881,158	425,860,146
(H) 収益分配金	△ 17,379,319	△ 15,879,628
次期繰越損益金(G+H)	388,501,839	409,980,518
追加信託差損益金 (配当等相当額)	193,348,646	177,540,956
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(304,017,941)	(279,957,384)
追加信託差損益金 (売買損益相当額)	(△110,669,295)	(△102,416,428)
分配準備積立金	384,443,209	356,195,202
繰越損益金	△189,290,016	△123,755,640

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。
(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。
(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程(総額)」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項目	第 24 期	第 25 期
(a) 経費控除後の配当等収益	13,765,499円	22,942,183円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	0円
(c) 収益調整金	304,017,941円	279,957,384円
(d) 分配準備積立金	388,057,029円	349,132,647円
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	705,840,469円	652,032,214円
(f) 1万口当り当期分配対象額	4,061.38円	4,106.09円
(g) 分配金	17,379,319円	15,879,628円
(h) 1万口当り分配金	100円	100円

収益分配金のお知らせ		
	第 24 期	第 25 期
1万口当り分配金（税引前）	100円	100円

<課税上の取り扱いについて>

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、「普通分配金」と「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となり、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- ・受益者は普通分配金に対し課税されます。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合、個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の新しい個別元本となります。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。2024年1月1日以降は一定の要件を満たした場合にNISAの適用対象となります。くわしくは、販売会社にお問合わせください。

お知らせ

○信託期間の延長について

信託期間を延長し、信託期間終了日を2027年9月20日から2044年9月20日に変更しました。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版)

第24期 (決算日 2023年8月15日)

第25期 (決算日 2023年11月15日)

(作成対象期間 2023年5月16日~2023年11月15日)

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	無期限 (設定日：2017年8月3日)	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの受益証券
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場 (上場予定を含みます。) または店頭登録 (登録予定を含みます。) の株式 (DR (預託証券) を含みます。) ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、配当等収益等を全額分配し、売買益等は基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、オーストラリアのリアルアセット関連有価証券に投資することにより、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近10期の運用実績

決算期	基準価額			S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリア REIT 指数 (税引後配当込み、円換算)		株式 組入比率	株式 先物比率	投資証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率	(参考指数)	期 騰落率				
	円	円	%		%		%	%	%	%	百万円
16期末 (2021年 8月16日)	11,053	90	3.3	14,026	3.4	13,259	4.5	18.2	—	80.3	2,078
17期末 (2021年11月15日)	11,828	110	8.0	14,418	2.8	14,459	9.1	17.0	—	82.4	2,102
18期末 (2022年 2月15日)	11,204	90	△4.5	13,856	△3.9	13,666	△5.5	15.4	—	81.1	1,918
19期末 (2022年 5月16日)	11,435	310	4.8	15,043	8.6	13,976	2.3	16.9	—	80.3	2,030
20期末 (2022年 8月15日)	11,891	300	6.6	15,796	5.0	14,590	4.4	18.7	—	79.8	2,248
21期末 (2022年11月15日)	11,161	120	△5.1	16,225	2.7	13,867	△5.0	15.1	—	81.8	2,322
22期末 (2023年 2月15日)	11,411	110	3.2	16,705	3.0	14,547	4.9	13.9	—	84.9	2,292
23期末 (2023年 5月15日)	11,007	100	△2.7	16,197	△3.0	14,068	△3.3	14.9	—	82.2	2,157
24期末 (2023年 8月15日)	10,994	100	0.8	17,017	5.1	14,161	0.7	16.6	—	81.4	2,131
25期末 (2023年11月15日)	10,663	140	△1.7	17,221	1.2	14,452	2.1	17.3	—	81.5	1,921

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) S & P オーストラリア REIT 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア REIT 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は最近で知り得るデータを使用しております。

(注6) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注7) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

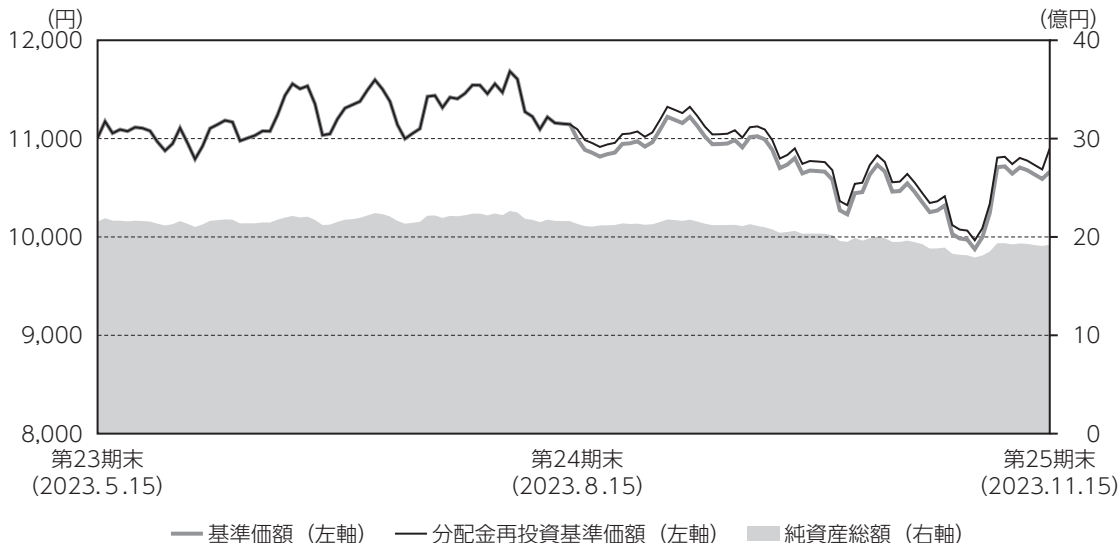
※参考指数を「S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算)」から「S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)」に、「S & P オーストラリア REIT 指数 (配当込み、円換算)」から「S & P オーストラリア REIT 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

S & P / A S X 200 指数および S & P オーストラリア REIT 指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「S P D J I」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社 に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは S P D J I に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用) は、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200 指数および S & P オーストラリア REIT 指数のいかなる過誤、遺漏、または中絶に対しては一切責任を負いません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

第24期首：11,007円

第25期末：10,663円（既払分配金240円）

騰落率：△1.0%（分配金再投資ベース）

■ 基準価額の主な変動要因

為替相場においてオーストラリア・ドルが対円で上昇（円安）したことは基準価額にプラスに働きましたが、オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄が下落したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

オーストラリア・リアルアセット・ファンド (適格機関投資家専用)

	年 月 日	基 準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		S&PオーストラリアREIT指数 (税引後配当込み、円換算) (参考指数)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率					
第24期	(期首)2023年 5 月15日	円 11,007	% -	16,197	% -	14,068	% -	% 14.9	% -	% 82.2
	5 月末	10,955	△ 0.5	16,220	0.1	13,927	△1.0	15.3	-	82.4
	6 月末	11,344	3.1	17,045	5.2	14,401	2.4	15.8	-	81.7
	7 月末	11,470	4.2	17,209	6.3	14,615	3.9	16.2	-	80.8
	(期末)2023年 8 月15日	11,094	0.8	17,017	5.1	14,161	0.7	16.6	-	81.4
第25期	(期首)2023年 8 月15日	10,994	-	17,017	-	14,161	-	16.6	-	81.4
	8 月末	11,221	2.1	17,198	1.1	15,015	6.0	16.1	-	80.8
	9 月末	10,670	△ 2.9	16,919	△0.6	14,024	△1.0	17.0	-	80.9
	10月末	9,876	△10.2	16,168	△5.0	12,884	△9.0	18.0	-	80.3
	(期末)2023年11月15日	10,803	△ 1.7	17,221	1.2	14,452	2.1	17.3	-	81.5

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2023.5.16~2023.11.15)

■オーストラリア・リアルアセット（※）市況

オーストラリアのリートやインフラ（社会基盤）関連銘柄は下落しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2023年6月にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）による政策金利の引き上げを受けて長期金利が上昇傾向となったことなどから下落傾向となりました。7月は米国やオーストラリアでCPI（消費者物価指数）が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇傾向となりました。8月中旬にかけては、長期金利が上昇傾向となり軟調な推移となりましたが、8月末にかけては、好決算を発表した主要物流施設リートにけん引される形で堅調な展開となりました。9月から10月末にかけては、米国で堅調な経済指標が示す経済の底堅さなどが意識されたことや、オーストラリアでCPIが市場予想を上回る伸びを示したことなどを背景に長期金利が上昇傾向となったことなどから、下落傾向となりました。その後、当作成期末にかけては、米国で軟調な経済指標が発表されたことなどにより長期金利の上昇が一服し、上昇傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

■為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2023年6月にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き上げを行った一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。7月はインフレ鈍化などを背景に長期金利の上昇が一服したことや日銀の政策運営の柔軟化決定などを受け、オーストラリア・ドルは対円で下落（円高）しました。8月から10月にかけては、オーストラリアの長期金利が上昇した一方で日銀は緩和的な金融政策の維持を発表したことから、オーストラリア・ドルは対円で上昇傾向となりました。その後、当作成期末にかけては、長期金利の上昇は一服したものの、RBAのインフレへの警戒姿勢が意識され、オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

ポートフォリオについて

(2023.5.16~2023.11.15)

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

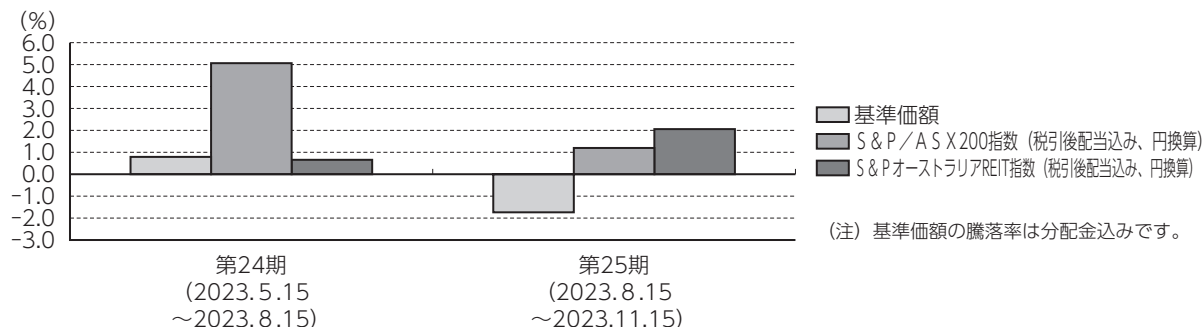
■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）などを高位に組み入れました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は下記「分配金資の内訳（1万口当り）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
	2023年5月16日 ～2023年8月15日	2023年8月16日 ～2023年11月15日
当期分配金（税込み）（円）	100	140
対基準価額比率（％）	0.90	1.30
当期の収益（円）	93	134
当期の収益以外（円）	7	6
翌期繰越分配対象額（円）	2,006	2,005

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第24期	第25期
(a) 経費控除後の配当等収益	✓ 98.60円	✓ 138.15円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00
(c) 収益調整金	891.56	905.36
(d) 分配準備積立金	✓ 1,116.80	✓ 1,102.23
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	2,106.97	2,145.76
(f) 分配金	100.00	140.00
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	2,006.97	2,005.76

（注）✓を付した該当項目から分配金を計上しています。



今後の運用方針

■当ファンド

「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

1万口当りの費用の明細

項 目	第24期～第25期 (2023.5.16～2023.11.15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0.285%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,958円です。
(投 信 会 社)	(29)	(0.265)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(1)	(0.005)	販売会社分は、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.014)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	3	0.025	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(0)	(0.002)	
(投 資 証 券)	(3)	(0.023)	
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	7	0.067	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(5)	(0.049)	配当金の再投資に係る税金支払い、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	41	0.376	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2023年5月16日から2023年11月15日まで)

決算期	第24期～第25期			
	設定		解約	
	□数	金額	□数	金額
	千口	千円	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	44,330	78,873	170,522	296,036

(注) 単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

(2023年5月16日から2023年11月15日まで)

項目	第24期～第25期	
	オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	18,982千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	343,503千円	
(c) 売買高比率(a)÷(b)	0.05	

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種類	第23期末		第25期末	
	□数	□数	□数	評価額
	千口	千口	千口	千円
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,223,935	1,097,744	1,917,759	

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年11月15日現在

項目	第25期末	
	評価額	比率
	千円	%
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド	1,917,759	98.3
コール・ローン等、その他	32,856	1.7
投資信託財産総額	1,950,616	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、11月15日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=97.72円、1ニュージーランド・ドル=90.41円です。

(注3) オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドにおいて、第25期末における外貨建純資産(1,923,737千円)の投資信託財産総額(1,928,246千円)に対する比率は、99.8%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年8月15日)、(2023年11月15日)現在

項目	第24期末	第25期末
(A) 資産	2,154,142,108円	1,950,616,583円
コール・ローン等	38,122,053	31,806,315
オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド(評価額)	2,116,020,055	1,917,759,868
未収入金	—	1,050,400
(B) 負債	22,518,764	29,163,779
未払収益分配金	19,388,776	25,228,037
未払解約金	—	1,000,000
未払信託報酬	3,099,936	2,877,794
その他未払費用	30,052	57,948
(C) 純資産総額(A-B)	2,131,623,344	1,921,452,804
元本	1,938,877,627	1,802,002,705
次期繰越損益金	192,745,717	119,450,099
(D) 受益権総口数	1,938,877,627口	1,802,002,705口
1万口当り基準価額(C/D)	10,994円	10,663円

*当作成期首における元本額は1,960,051,579円、当作成期間(第24期～第25期)中における追加設定元本額は61,713,150円、同解約元本額は219,762,024円です。

*第25期末の計算口数当りの純資産額は10,663円です。

■損益の状況

第24期 自2023年5月16日 至2023年8月15日
 第25期 自2023年8月16日 至2023年11月15日

項 目	第 24 期	第 25 期
(A) 配当等収益	△ 819円	△ 418円
受取利息	5	24
支払利息	△ 824	△ 442
(B) 有価証券売買損益	18,537,834	△ 31,220,691
売買益	19,719,594	6,840,195
売買損	△ 1,181,760	△ 38,060,886
(C) 信託報酬等	△ 3,129,988	△ 2,905,690
(D) 当期繰越益金(A+B+C)	15,407,027	△ 34,126,799
(E) 前期繰越損益金	76,445,494	66,552,531
(F) 追加信託差損益金	120,281,972	112,252,404
(配当等相当額)	(172,863,275)	(163,147,710)
(売買損益相当額)	(△ 52,581,303)	(△ 50,895,306)
(G) 合計(D+E+F)	212,134,493	144,678,136
(H) 収益分配金	△ 19,388,776	△ 25,228,037
次期繰越損益金(G+H)	192,745,717	119,450,099
追加信託差損益金	120,281,972	112,252,404
(配当等相当額)	(172,863,275)	(163,147,710)
(売買損益相当額)	(△ 52,581,303)	(△ 50,895,306)
分配準備積立金	216,264,740	198,291,372
繰越損益金	△143,800,995	△191,093,677

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第 24 期	第 25 期
(a) 経費控除後の配当等収益	19,118,931円	24,896,416円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0
(c) 収益調整金	172,863,275	163,147,710
(d) 分配準備積立金	216,534,585	198,622,993
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	408,516,791	386,667,119
(f) 分配金	19,388,776	25,228,037
(g) 翌期繰越分配対象額(e-f)	389,128,015	361,439,082
(h) 受益権総口数	1,938,877,627口	1,802,002,705口

収益分配金のお知らせ

	第 24 期	第 25 期
1万口当り分配金（税込み）	100円	140円

<補足情報>

当ファンド（オーストラリア・リアルアセット・ファンド（適格機関投資家専用））が投資対象としている「オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド」の決算日（2023年8月3日）と、当ファンドの決算日が異なっておりますので、当ファンドの第25期の決算日（2023年11月15日）現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの組入資産の内容等を掲載いたしました。

■オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの主要な売買銘柄

(1) 株 式

(2023年5月16日から2023年11月15日まで)

買				付				売				付			
銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価	銘柄	柄	株数	金額	平均単価	
		千株	千円	円			千株	千円	円			千株	千円	円	
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)		28	14,716	525						
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)		18	4,266	237						

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年5月16日から2023年11月15日まで)

買				付				売				付			
銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価	銘柄	柄	口数	金額	平均単価	
		千口	千円	円			千口	千円	円			千口	千円	円	
GPT GROUP (オーストラリア)		50	19,624	392	GOODMAN GROUP (オーストラリア)		24.1	50,115	2,079						
MIRVAC GROUP (オーストラリア)		40	9,276	231	TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)		31	36,502	1,177						
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS (オーストラリア)		20	5,846	292	CENTURIA CAPITAL GROUP (オーストラリア)		200	27,084	135						
					DEXUS/AU (オーストラリア)		20	12,576	628						
					APA GROUP (オーストラリア)		14	11,103	793						
					INGENIA COMMUNITIES GROUP (オーストラリア)		20	7,703	385						
					REGION GROUP (オーストラリア)		30	6,150	205						
					HOMECO DAILY NEEDS REIT (オーストラリア)		50	5,096	101						
					ABACUS GROUP UNIT (オーストラリア)		50	4,599	91						
					RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)		20	3,583	179						

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

下記は、2023年11月15日現在におけるオーストラリア・リアルアセット・マザーファンド（1,103,138千口）の内容です。

(1) 外国株式

銘柄	2023年11月15日現在			業種等
	株数	評価額	業種等	
(オーストラリア)	百株	千円		
AGL ENERGY LTD	710	748	73,127	公益事業
ATLAS ARTERIA	697.28	405	39,656	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,407.28 2銘柄	1,154 112,784 <5.9%>	
(ニュージーランド)	百株	千円		
MERIDIAN ENERGY LTD	300	150	13,642	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	176	15,967	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	934.31	220	19,892	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	51	4,666	公益事業
INFRATIL LTD	704.04	725	65,593	資本財・サービス
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,112	100,582	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	3,804.35 6銘柄	2,437 220,346 <11.4%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,211.63 8銘柄	— 333,130 <17.3%>	

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	2023年11月15日現在		
	口数	評価額	業種等
(オーストラリア)	千口	千円	
DEXUS/AU	117	811	79,346
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	100	141	13,827
ABACUS STORAGE KING STAPLED UNITS	294.642	300	29,368
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	110.092	280	27,433
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	92	9,006
RURAL FUNDS GROUP	101.926	187	18,276
WAYPOINT REIT	29.831	70	6,908
CHARTER HALL LONG WALE REIT	101.882	340	33,252
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	83	8,167
CENTURIA CAPITAL GROUP	141.833	179	17,532
HOMEEO DAILY NEEDS REIT	560.289	633	61,869
TRANSURBAN GROUP	80.413	1,015	99,246
APA GROUP	119.847	988	96,619
REGION GROUP	204.115	428	41,886
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	72.919	164	16,032
NATIONAL STORAGE REIT	270.84	571	55,844
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	98	9,635
SCENTRE GROUP	539	1,385	135,364
ARENA REIT	307.432	1,026	100,341
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	118.5	322	31,497
GPT GROUP	285.7	1,119	109,440
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	106	10,403
MIRVAC GROUP	485	953	93,129
STOCKLAND	282.055	1,071	104,737
ABACUS GROUP UNIT	200	201	19,641
GOODMAN GROUP	87.2	1,985	194,027
VICINITY CENTRES	343	610	59,661
CHARTER HALL GROUP	77	767	75,018
INGENIA COMMUNITIES GROUP	20.658	85	8,397
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,219.275 29銘柄	16,024 1,565,915 <81.3%>
(ニュージーランド)	千口	千円	
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	49	4,505
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	43	3,977
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	93 8,482 <0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,299.247 31銘柄	— 1,574,398 <81.7%>

(注1) 邦貨換算金額は、2023年11月15日現在の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

運用報告書 第14期（決算日 2023年8月3日）

（作成対象期間 2023年2月4日～2023年8月3日）

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

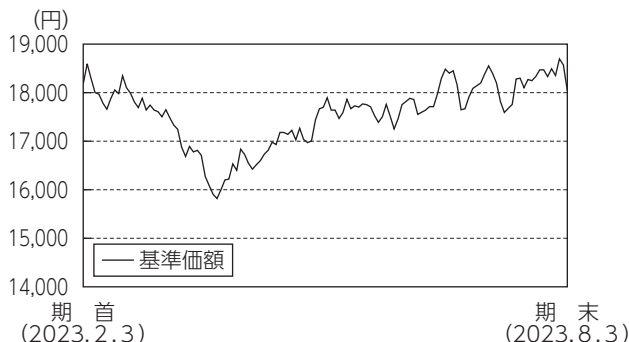
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	イ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場または店頭登録の投資信託証券 ロ. オーストラリアおよびニュージーランドの金融商品取引所上場（上場予定を含みます。）または店頭登録（登録予定を含みます。）の株式（DR（預託証券）を含みます。） ハ. オーストラリアおよびニュージーランドの企業のDR
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)		S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算)		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	投 資 証 券 入 比 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首)2023年2月3日	18,179	-	20,661	-	15,142	-	14.2%	-	84.4%
2月末	17,643	△2.9	20,156	△2.4	14,669	△ 3.1	14.1	-	84.4
3月末	16,532	△9.1	19,579	△5.2	13,425	△11.3	15.2	-	82.0
4月末	17,005	△6.5	19,893	△3.7	13,925	△ 8.0	14.6	-	81.5
5月末	17,513	△3.7	20,218	△2.1	14,358	△ 5.2	15.3	-	82.5
6月末	18,143	△0.2	21,245	2.8	14,846	△ 2.0	15.8	-	81.8
7月末	18,354	1.0	21,451	3.8	15,067	△ 0.5	16.2	-	80.9
(期末)2023年8月3日	18,039	△0.8	21,259	2.9	14,826	△ 2.1	16.4	-	81.0

- (注1) 騰落率は期首比。
 (注2) S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
 (注3) S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、オーストラリア・ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。
 (注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
 (注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
 (注6) 株式先物比率は買建比率-売建比率です。
 ※参考指数の「S & P / A S X 200 指数 (配当込み、円換算)」を「S & P / A S X 200 指数 (税引後配当込み、円換算)」に、「S & P オーストラリア R E I T 指数 (配当込み、円換算)」を「S & P オーストラリア R E I T 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：18,179円 期末：18,039円 騰落率：△0.8%

【基準価額の主な変動要因】

為替については、オーストラリア・ドルが対円で上昇 (円安) したことが、基準価額にプラスに働きましたが、オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄が下落したことがマイナスに働き、基準価額は下落しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ オーストラリア・リアルアセット (※) 市況

オーストラリアのリートやインフラ (社会基盤) 関連銘柄は下落しました。

オーストラリア・リアルアセット市況は、当作成期首から2023年2月末にかけて、米国で堅調な雇用統計が発表されたことなどを

背景に、金融引き締め長期化への警戒感が高まり、軟調な推移となりました。3月は、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に、信用不安への警戒感が高まったことから、軟調な推移となりました。4月は、米国当局による預金者保護や地方銀行救済策の進展などを背景に、投資家のリスク回避姿勢が後退し、上昇傾向となりました。5月から6月にかけては、RBA (オーストラリア準備銀行) による政策金利の引き上げを受けて金利が上昇傾向となったこともあり、やや軟調な展開となりました。7月から当作成期末にかけては、米国やオーストラリアでCPI (消費者物価指数) が市場予想を上回るペースで鈍化傾向となったことを背景に、金融引き締めサイクルの終わりが意識され、上昇傾向となりました。

※リアルアセットはリート、上場インフラファンド、株式を含みます。

○為替相場

オーストラリア・ドルは対円で上昇しました。

当作成期首から2023年3月にかけては、米国の地方銀行の経営破綻などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まり、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。4月は、米国金融当局の迅速な危機対応が評価され投資家のリスク回避姿勢が後退したことなどから円安オーストラリア・ドル高となる局面もありましたが、月間では対円でおおむね横ばいでの推移となりました。5月から6月にかけては、RBA（オーストラリア準備銀行）が政策金利の引き上げを行い、金利が上昇傾向となったことなどから、対円で上昇しました。7月から当作成期末にかけては、インフレ鈍化などを背景に長期金利の上昇が一服したことなどから、オーストラリア・ドルは対円で下落傾向となりました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

◆ポートフォリオについて

オーストラリアだけでなく、世界中で物流施設を開発・運営するGOODMAN GROUP（不動産）、オーストラリアの主要都市に優れた高速道路ネットワークを持ち、継続的な事業成長が期待できる高速道路運営会社TRANSURBAN GROUP（資本財・サービス）、ガス産出地と主要都市を結ぶガスパイプラインなどを運営するAPA GROUP（公益事業）、大規模ショッピングモールをオーストラリア全土で運営するSCENTRE GROUP（不動産）などを高位に組み入れました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

当ファンドでは、高速道路・空港などのインフラ（社会基盤）関連施設や、オフィス・ショッピングモールなどの不動産を保有し、安定的なキャッシュフローを生み出すことができる企業に注目しています。また、長期的な配当成長の源泉となる、高い開発・運営能力や強固な事業基盤を持つ企業に着目します。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料 (株式) (投資証券)	5円 (1) (4)
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用) (その他)	10 (3) (6)
合計	14

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

(1) 株 式

(2023年2月4日から2023年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	オーストラリア	百株 (—)	千オーストラリア・ドル (—)	百株 200	千オーストラリア・ドル 135
	ニュージーランド	百株 (84.04)	千ニュージーランド・ドル (77)	百株 380	千ニュージーランド・ドル 155

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年2月4日から2023年8月3日まで)

		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外 国	オーストラリア	千口 190 (320.174)	千オーストラリア・ドル 506 (117)	千口 326.076 (—)	千オーストラリア・ドル 1,769 (—)

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 買付()内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 売付()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注4) 金額の単位未満は切捨て。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■主要な売買銘柄

(1) 株式

(2023年2月4日から2023年8月3日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	株数	金額	平均単価		銘柄	株数	金額	平均単価	
	千株	千円	円			千株	千円	円	
					ATLAS ARTERIA (オーストラリア)	20	12,153	607	
					MERIDIAN ENERGY LTD (ニュージーランド)	20	9,015	450	
					GENESIS ENERGY LTD (ニュージーランド)	18	4,266	237	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

(2) 投資証券

(2023年2月4日から2023年8月3日まで)

当					期				
買			付		売			付	
銘柄	口数	金額	平均単価		銘柄	口数	金額	平均単価	
	千口	千円	円			千口	千円	円	
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR (オーストラリア)	40	12,612	315		CHARTER HALL GROUP (オーストラリア)	59	65,707	1,113	
VICINITY CENTRES (オーストラリア)	60	11,278	187		GOODMAN GROUP (オーストラリア)	15	27,249	1,816	
SCENTRE GROUP (オーストラリア)	40	10,935	273		APA GROUP (オーストラリア)	23	22,839	993	
NATIONAL STORAGE REIT (オーストラリア)	50	10,915	218		TRANSURBAN GROUP (オーストラリア)	16	20,539	1,283	
					RURAL FUNDS GROUP (オーストラリア)	50	9,436	188	
					CROMWELL PROPERTY GROUP (オーストラリア)	143.076	8,388	58	
					HOTEL PROPERTY INVESTMENTS (オーストラリア)	20	6,522	326	

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国株式

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(オーストラリア)	百株	百株	千円	千円	
AGL ENERGY LTD	710	710	829	77,803	公益事業
ATLAS ARTERIA	1,177.28	977.28	598	56,065	資本財・サービス
オーストラリア・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,887.28 2銘柄	1,687.28 2銘柄	1,428 < 6.1%>	
(ニュージーランド)	百株	百株	千円	千円	
MERIDIAN ENERGY LTD	500	300	165	14,446	公益事業
MERCURY NZ LTD	290	290	189	16,520	公益事業
GENESIS ENERGY LTD	1,114.31	934.31	253	22,129	公益事業
MANAWA ENERGY LTD	116	116	55	4,806	公益事業
INFRATIL LTD	620	704.04	697	60,867	資本財・サービス
CONTACT ENERGY LTD	1,460	1,460	1,220	106,481	公益事業
ニュージーランド・ドル 通貨計	株数、金額 銘柄数<比率>	4,100.31 6銘柄	3,804.35 6銘柄	2,581 < 10.3%>	
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	5,987.59 8銘柄	5,491.63 8銘柄	359,122 < 16.4%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

(2) 外国投資証券

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
(オーストラリア)	千口	千口	千円	千円
DEXUS/AU	137	137	1,115	104,536
HEALTHCO HEALTHCARE & WELLNESS REI	100	100	136	12,748
ABACUS STORAGE KING STAPLED UNITS	-	294.642	380	35,629
CHARTER HALL SOCIAL INFRASTR	105.245	108.372	313	29,358
CROMWELL PROPERTY GROUP	143.076	-	-	-
CENTURIA INDUSTRIAL REIT	30.517	30.517	96	9,039
RURAL FUNDS GROUP	166.45	120.12	235	22,069
WAYPOINT REIT	29.831	29.831	76	7,158
CHARTER HALL LONG WALE REIT	101.882	101.882	413	38,774
CENTURIA OFFICE REIT	67.679	67.679	99	9,326
CENTURIA CAPITAL GROUP	319.719	330.095	526	49,354
HOMECO DAILY NEEDS REIT	610.289	610.289	707	66,361
TRANSURBAN GROUP	127.413	111.413	1,565	146,736
APA GROUP	156.847	133.847	1,311	122,958
REGION GROUP	226.435	226.435	538	50,517
GROWTHPOINT PROPERTIES AUSTR	32.919	72.919	205	19,275
NATIONAL STORAGE REIT	209.123	264.102	596	55,950
DEXUS INDUSTRIA REIT STAPLED UNIT	37.348	37.348	102	9,592
SCENTRE GROUP	499	539	1,509	141,472
ARENA REIT	296.523	299.903	1,127	105,704
HOTEL PROPERTY INVESTMENTS	115.542	95.542	286	26,868

銘柄	期首		期末	
	口数	口数	評価額	
			外貨建金額	邦貨換算金額
	千口	千口	千円	千円
GPT GROUP	235.7	235.7	1,011	94,785
CHARTER HALL RETAIL REIT	32.557	32.557	121	11,414
MIRVAC GROUP	445	445	1,032	96,777
STOCKLAND	282.055	282.055	1,181	110,782
ABACUS PROPERTY GROUP	250	250	330	30,934
GOODMAN GROUP	121.3	106.3	2,144	200,985
VICINITY CENTRES	283	343	668	62,697
CHARTER HALL GROUP	136	77	843	79,109
INGENIA COMMUNITIES GROUP	40.658	40.658	165	15,473
オーストラリア・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,339.108 29銘柄	5,523.206 29銘柄	18,843 < 80.6%>
(ニュージーランド)	千口	千口	千円	千円
KIWI PROPERTY GROUP LTD	58.972	58.972	54	4,784
GOODMAN PROPERTY TRUST	21	21	47	4,122
ニュージーランド・ドル 通貨計	口数、金額 銘柄数<比率>	79.972 2銘柄	79.972 2銘柄	102 < 0.4%>
合計	口数、金額 銘柄数<比率>	5,419.08 31銘柄	5,603.178 31銘柄	1,775,302 < 81.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年8月3日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 359,122	16.4%
投資証券	1,775,302	81.0%
コール・ローン等、その他	57,517	2.6%
投資信託財産総額	2,191,942	100.0%

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、8月3日における邦貨換算レートは、1オーストラリア・ドル=93.74円、1ニュージーランド・ドル=87.24円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産 (2,170,195千円) の投資信託財産総額 (2,191,942千円) に対する比率は、99.0%です。

オーストラリア・リアルアセット・マザーファンド

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年8月3日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,191,942,835円
コール・ローン等	38,498,918
株式(評価額)	359,122,297
投資証券(評価額)	1,775,302,920
未収配当金	19,018,700
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	2,191,942,835
元本	1,215,106,151
次期繰越損益金	976,836,684
(D) 受益権総口数	1,215,106,151口
1万口当り基準価額(C / D)	18,039円

* 期首における元本額は1,295,416,098円、当作成期間中における追加設定元本額は93,826,439円、同解約元本額は174,136,386円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
オーストラリア・リアルアセット・ファンド(酒格機関投資家専用) 1,208,761,274円
オーストラリア・リアルアセット・ファンド 6,344,877円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は18,039円です。

■損益の状況

当期 自2023年2月4日 至2023年8月3日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	47,180,064円
受取配当金	47,030,832
受取利息	154,002
支払利息	△ 4,770
(B) 有価証券売買損益	△ 66,804,792
売買益	116,057,711
売買損	△ 182,862,503
(C) その他費用	△ 1,183,135
(D) 当期損益金(A + B + C)	△ 20,807,863
(E) 前期繰越損益金	1,059,465,109
(F) 解約差損益金	△ 129,028,460
(G) 追加信託差損益金	67,207,898
(H) 合計(D + E + F + G)	976,836,684
次期繰越損益金(H)	976,836,684

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリア R E I T 指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「S P D J I」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S&P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはS P D J Iに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。オーストラリア・リアルアセット・マザーファンドは、S P D J I、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P / A S X 200指数およびS & P オーストラリア R E I T 指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

ダイワ・マネー ポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)

運用報告書 (全体版) 第7期

(決算日 2023年12月11日)
(作成対象期間 2022年12月10日~2023年12月11日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／国内／債券	
信託期間	無期限 (設定日：2017年9月19日)	
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	イ、ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの受益証券 ロ、円建ての債券
	ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	円建ての債券
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、配当等収益等を中心に分配します。ただし、配当等収益等の額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先 (コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税 分 込 配 金	期 騰 落 中 率			
3期末 (2019年12月9日)	円 9,952	円 0	% △0.1	% —	% —	百万円 1
4期末 (2020年12月9日)	9,943	0	△0.1	—	—	1
5期末 (2021年12月9日)	9,937	0	△0.1	—	—	1
6期末 (2022年12月9日)	9,930	0	△0.1	—	—	1
7期末 (2023年12月11日)	9,923	0	△0.1	—	—	1

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

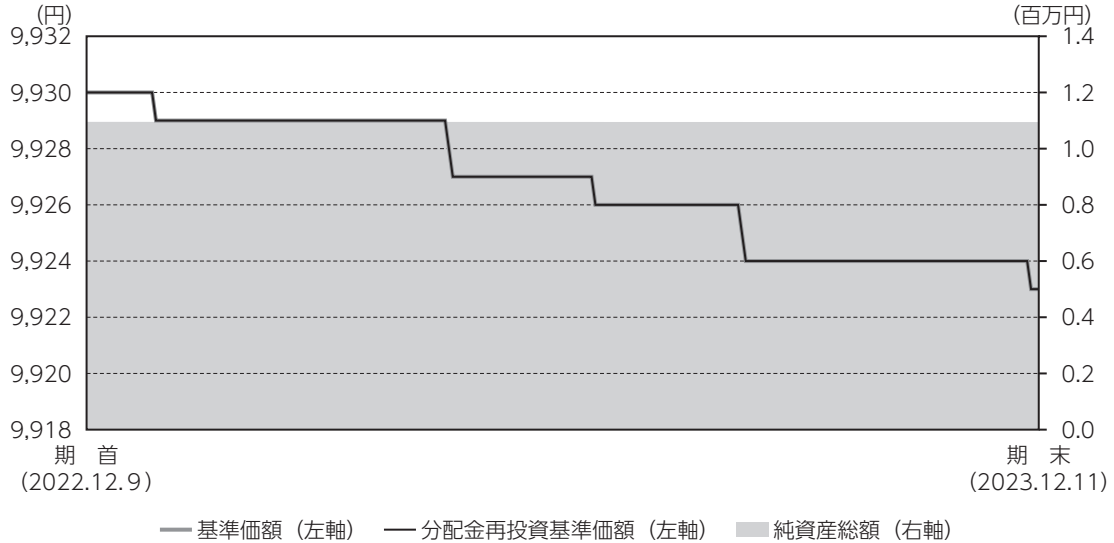
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当学期首の基準価額をもとに指数化したものです。

*分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期首：9,930円

期末：9,923円 (分配金0円)

騰落率：△0.1% (分配金込み)

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券を通じて投資したコール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

ダイワ・マネーポートフォリオ（FOFs用）（適格機関投資家専用）

年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 率	債 券 先 物 率
	騰 落 率	率		
(期首) 2022年12月 9 日	円 9,930	% -	% -	% -
12月末	9,930	0.0	-	-
2023年 1 月末	9,929	△0.0	-	-
2 月末	9,929	△0.0	-	-
3 月末	9,929	△0.0	-	-
4 月末	9,927	△0.0	-	-
5 月末	9,927	△0.0	-	-
6 月末	9,926	△0.0	-	-
7 月末	9,926	△0.0	-	-
8 月末	9,924	△0.1	-	-
9 月末	9,924	△0.1	-	-
10月末	9,924	△0.1	-	-
11月末	9,924	△0.1	-	-
(期末) 2023年12月11日	9,923	△0.1	-	-

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2022.12.10~2023.12.11)

国内短期金融市況

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量的・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券（3カ月物）の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

ポートフォリオについて

(2022.12.10~2023.12.11)

当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行いました。

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期は、分配対象額が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2022年12月10日 ～2023年12月11日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	—

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（注4）投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド」の受益証券へ投資を行います。

■ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

上記の運用方針により、マイナス利回りの短期の国債やコール・ローン等にも投資する場合があります。今後も現在の低金利環境が継続した場合は、ファンド全体の損益がマイナスとなり、基準価額が下落することが予想されます。投資家のみなさまにおかれましては、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2022.12.10~2023.12.11)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	－円	－%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,927円です。
売 買 委 託 手 数 料	－	－	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	－	－	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.033	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(3)	(0.033)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	3	0.033	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首 当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千口 1,089	千口 1,089	千円 1,091

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド	千円 1,091	% 99.7
コール・ローン等、その他	3	0.3
投資信託財産総額	1,094	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,094,852円
コール・ローン等	3,688
ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド(評価額)	1,091,164
(B) 負債	185
その他未払費用	185
(C) 純資産総額(A - B)	1,094,667
元本	1,103,110
次期繰越損益金	△ 8,443
(D) 受益権総口数	1,103,110口
1万口当り基準価額(C / D)	9,923円

*期首における元本額は1,103,110円、当作成期間中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は0円です。

*当期末の計算口数当りの純資産額は9,923円です。

*当期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は8,443円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 有価証券売買損益	△ 327円
売買損	△ 327
(B) 信託報酬等	△ 367
(C) 当期損益金(A + B)	△ 694
(D) 前期繰越損益金	△4,639
(E) 追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
(F) 合計(C + D + E)	△8,443
次期繰越損益金(F)	△8,443
追加信託差損益金	△3,110
(売買損益相当額)	(△3,110)
繰越損益金	△5,333

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程(総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a + b + c + d)	0
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額(e - f)	0
(h) 受益権総口数	1,103,110口

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンド

運用報告書 第15期 (決算日 2023年12月11日)

(作成対象期間 2022年12月10日～2023年12月11日)

ダイワ・マネーポートフォリオ・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

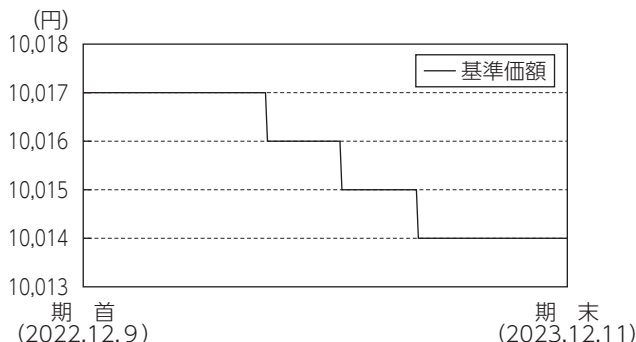
運用方針	安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要投資対象	円建ての債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基準 価 額		公 社 債 組 入 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	
(期首)2022年12月9日	円	%	%
12月末	10,017	0.0	-
2023年1月末	10,017	0.0	-
2月末	10,017	0.0	-
3月末	10,017	0.0	-
4月末	10,016	△0.0	-
5月末	10,016	△0.0	-
6月末	10,015	△0.0	-
7月末	10,015	△0.0	-
8月末	10,014	△0.0	-
9月末	10,014	△0.0	-
10月末	10,014	△0.0	-
11月末	10,014	△0.0	-
(期末)2023年12月11日	10,014	△0.0	-

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。
 (注3) 当ファンドは、安定した収益の確保をめざして安定運用を行っており、ベンチマークおよび参考指数はありません。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,017円 期末：10,014円 騰落率：△0.0%

【基準価額の主な変動要因】

コール・ローン等の利回りがマイナス圏で推移したことなどから、基準価額は下落しました。

◆投資環境について

○国内短期金融市場

当作成期を通じて、日銀は長短金利操作付き量・質的金融緩和を維持しました。この金融政策を背景に、国庫短期証券(3カ月物)の利回りおよび無担保コール翌日物金利はマイナス圏で推移しました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

◆ポートフォリオについて

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	-円
有価証券取引税	-
その他費用 (その他)	0 (0)
合 計	0

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。
 (注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

当作成期中における売買および取引はありません。

■主要な売買銘柄

当作成期中における主要な売買銘柄はありません。

■組入資産明細表

当作成期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 62,664,638	% 100.0
投資信託財産総額	62,664,638	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2023年12月11日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	62,664,638,644円
コール・ローン等	62,664,638,644
(B) 負債	-
(C) 純資産総額(A - B)	62,664,638,644
元本	62,579,567,123
次期繰越損益金	85,071,521
(D) 受益権総口数	62,579,567,123口
1万口当り基準価額(C / D)	10,014円

* 期首における元本額は44,855,160,815円、当作成期間中における追加設定元本額は94,438,728,484円、同解約元本額は76,714,322,176円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額:

ダイワ米ドル・ブルファンド (適格機関投資家専用)	394,341,311円
ダイワ米ドル・ベアファンド (適格機関投資家専用)	7,178,107,283円
ダイワ・マネーポートフォリオ (FOFs用) (適格機関投資家専用)	1,089,639円
ダイワJリートベア・ファンド (適格機関投資家専用)	905,310,638円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-01 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,518,511円
米国国債プラス日本株式ファンド2021-07 (部分為替ヘッジあり/適格機関投資家専用)	1,993,906円
ダイワ/バリュース・パートナーズ チャイナ・ヘルスケア・フォーカス	9,976円
通貨選択型 米国リート・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
通貨選択型アメリカン・エクイティ・αクワトロ (毎月分配型)	159,141円
オール・マーケット・インカム戦略 (資産成長重視コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定額分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (奇数月定率分配コース)	9,963円
オール・マーケット・インカム戦略 (予想分配金提示型コース)	9,963円
NYダウ・トリプル・レバレッジ	930,471,926円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年1回決算型)	998円
世界セレクトティブ株式オープン (為替ヘッジあり/年2回決算型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (資産成長型)	998円
ポーレン米国グロース株式ファンド (予想分配金提示型)	998円
トレンド・キャッチ戦略ファンド	9,977円
AHLターゲットリスク・ライト戦略ファンド (適格機関投資家専用)	7,916,611,556円
ダイワJGBベア・ファンド2 (適格機関投資家専用)	45,246,139,138円
ダイワ/ロジャーズ国際コモディティTM・ファンド	2,417,017円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) 日本円・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) ブラジル・リアル・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ/フィデリティ・アジア・ハイ・イールド債券ファンド (通貨選択型) アジア通貨・コース (毎月分配型)	998円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券α (毎月分配型)	9,949円
ダイワ米国債7-10年ラダー型ファンド・マネーポートフォリオ - USトライアングル	997,374円
ダイワ豪ドル建て高利回り証券ファンド - 予想分配金提示型	173,802円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,014円です。

■損益の状況

当期 自2022年12月10日 至2023年12月11日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 25,212,071円
受取利息	17,750
支払利息	△ 25,229,821
(B) その他費用	△ 16,282
(C) 当期損益金(A + B)	△ 25,228,353
(D) 前期繰越損益金	78,288,990
(E) 解約差損益金	△121,056,632
(F) 追加信託差損益金	153,067,516
(G) 合計(C + D + E + F)	85,071,521
次期繰越損益金(G)	85,071,521

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。